



⑧発信する ⑨追究する ⑩粘り強く ⑪つながる ⑫思いや願いを実現しようとする ⑬課題解決する

安心を育む大人のまなざし

校長 坂本陽子

体育館の横にある金木犀の甘い香りが、秋風に乗って漂う季節となりました。この夏は、国内では豪雨、地震、世界各地では熱波や山火事など、心を痛める出来事もありました。先日、神奈川県や千葉県では、大雨による土砂災害、浸水がありました。皆様の中には、郷里が被災された方もいらっしゃるかもしれません。心よりお見舞い申し上げます。

夏休みが明けても雨や曇りの日が多く、思うように屋外での活動ができない日もありますが、子ども達は学習や運動、友だちとの関わりなど、一人ひとりが様々な経験を重ねながら学校生活を送っています。新しいことに挑戦したり、年に1度の行事のために準備をしたりすることを、楽しむことができるお子さんもいれば、不安に感じるお子さんもいます。努力しても思うようにいかず悩んだり立ち止まったりすることもあります。

朝、門に立って子ども達を迎えていると、表情や挨拶の様子でその変化に気づくこともあります。特に、新学期、夏休み明け、週明けの月曜日、連休明けは、挨拶を交わしながらその変化に気づけるようにしています。虫かごを大切に持って「かまきり見つけたよ」「みんなに見せるんだ!」と走っていく子。友だちと話をしながら楽しそうに教室に向かう子。涙をためて不安そうにしている子。声をかけて話を聞いてみると、忘れ物をしたことを悔いていてどうしてよいか分からないと心配がどんどん大きくなっているようでした。それでも、歩みを進めて学校までたどり着いたことを思うと、「よくがんばって来たね。そして、困っていることを話してくれてありがとう」

「心配しなくていいよ。担任の先生に話してごらんささい。ちゃんと、聞いてくれるからね」と、安心してもらえるように声をかけます。すぐに、担任に連絡をして事前に状況を理解してもらって教室で迎えてもらえるようにしてもらうこともあります。

不安や心配は人によって感じ方や受け止め方は違います。ただ、「自分のことを気にかけてくれる大人がいる」という安心感があれば、目の前の壁を乗り越えるパワーになると思います。子どもの成長には信頼できる大人の存在が欠かせません。保護者、教職員、地域の方々、習い事の先生など、子ども達の周りには様々な大人がいます。「どうしたの?」と声をかけ、話に耳を傾け、理解しようとする大人がいることが、子ども達にとっては大きな安心につながります。

最後になりますが、10月末に開催する運動会の練習が本格的に始まります。子どもたちの健康面、安全面に気を付けて進めていきます。引き続き、初音が丘小学校の教育活動へのご理解、ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

初音が丘小学校4つのたいせつな心
～みんなの幸せのために～
あいさつは心をこめて

